Noh for high school students

第十四回

高校生のための能楽鑑賞会

# 天鼓

TENKO



弄鼓之舞

参加無料

2020.2.15(土)

開演 14:00　開場 13:30

(16:30頃 終演予定)

会場 大槻能楽堂

主催　公益社団法人能楽協会 大阪支部

後援　大阪府教育委員会 大阪市教育委員会

第十四回

# 高校生のための能楽鑑賞会

能・狂言は600年以上、一度も途切れることなく続いている日本の演劇で、
ユネスコ無形文化遺産にも登録された日本の大切な文化です。

## 狂言「附子（ぶす）」

主人から留守番を頼まれた太郎冠者と次郎冠者。家には「附子」という猛毒が入っている桶があるので、気をつけるよう注意されていましたが、二人は怖いもの見たさで桶を開けてしまいます。が、中に入っていたのは美味しそうな砂糖！「附子」が砂糖であることを知った二人は全部平らげてしまいます。二人は主人に砂糖がなくなってしまったことを、言い訳するために、あることを思いつきます。

## 能「天鼓（てんこ）」



©公益社団法人能楽協会
「天鼓 弄鼓之舞」

漢国に住む老夫婦、王伯・王母の子、天鼓は、王母の不思議な夢によって生まれ、後に天から降ってきた鼓で妙音を奏で、人々を感動させることができました。この噂を聞いた帝は鼓の献上を命じます。天鼓は勅命に背いたため殺され、鼓は宮中に据えられます。しかし鼓は誰が打っても鳴らず、帝は父の王伯に打たせよと、勅使が迎えに行きます。愛児を失い日夜悲嘆にくれている王伯が、わが子への思いを胸に鼓を打つと、不思議なことに鼓は妙音を発します。この奇跡に帝も親子の情愛深さを感じ、王伯には宝を与え天鼓の冥福を祈るため、呂水のほとりで管弦講を行います。すると水中から天鼓の霊が現れ、懐かしい鼓を打ち、管弦に合わせて、ひとしきり喜びの舞を舞います。楽しげに舞う天鼓は、ほのぼのと夜が明け、空も白む頃に現か夢ともつかないようにして、消えていくのでした。

第十四回
高校生のための能楽鑑賞会

◆狂言「附子（ぶす）」シテ 善竹 隆平
◆能「天鼓（てんこ）」シテ 赤松 禎友
令和2年2月15日（土）14時開演（13時半開場）※16時半終演予定

**参加無料** 会場 **大槻能楽堂**

但し、申込みが必要となります
【対象】高校生および高校教諭　【定員】400名先着順

【申込方法】●氏名 ●学校名 ●連絡先（メール）●生徒or教諭かを明記の上、申込先までメールにてお申込みください。
学校単位でのお申込みは、◆学校名 ◆参加人数 ◆ご担当教諭名と連絡先（メール）を明記ください。

【申込受付期間】
令和2年1月20日（月）～2月7日（金）

【申込先・お問い合わせ先】
koukousei.nougaku@gmail.com（守家由訓）

申込頂きました方には返信メールを差し上げますので、パソコンからの受信可能な環境でお待ちください。

［大槻能楽堂へのアクセス］




○Osaka Metro「谷町四丁目」下車、
⑩号出口を出て南へ約300m。（⑪号出口にエレベーター有り）
または「谷町六丁目」下車、⑦号出口を出て約350m。
（⑦号出口にエレベーター有り）

○大阪シティバス「国立病院」下車南へすぐ、
※大阪駅前から62号系統「住吉車庫前」行乗車。
※「あべの橋」（天王寺）から62号系統「大阪駅前」行乗車。

本公演における写真撮影・テープ録音・携帯電話等にての撮影・録音は著作権・肖像権に触れますのでご遠慮いただきますようお願いいたします。